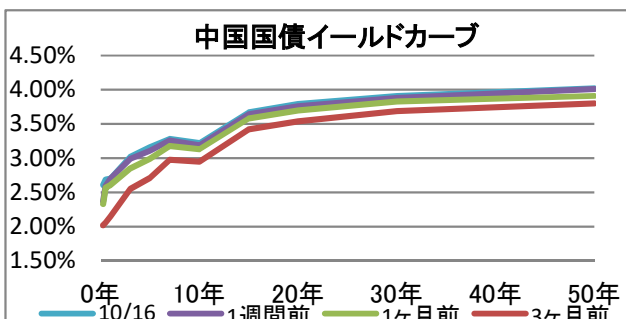
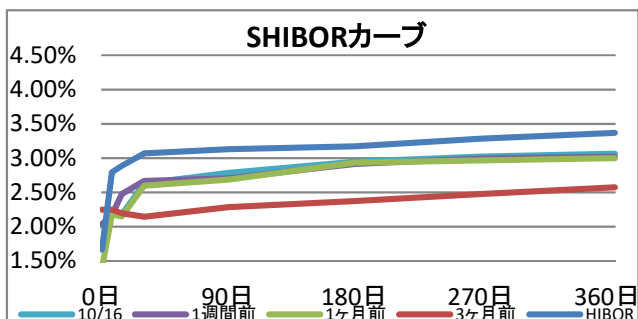


①市場概況

基準レート		2020/10/16	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7332	-0.0464
	JPY/CNY	6.3887	-0.0156
SHIBOR	3M	2.7860%	+0.0780%
国債利回り	10年	3.22%	+0.03%
上海総合指数		3,336.36	+64.28



(1) 概況

国慶節連休を楽しむ人々の報道が中国の景気回復を印象付ける一方、欧米では新型コロナウイルス感染再拡大による経済への悪影響に対する懸念が高まり、対照的な状況となっている。また、中国では深圳においてデジタル通貨の公開テストが開始されており、G7が法律や規制等が整備されるまでサービスを開始すべきではないと共同声明により牽制する事態となっている。このような中、連休明けの中国金融市場は、株式市場が急騰し、外為市場では人民元が大幅に買い進まれたものの、株式市場は資産市場価格上昇に対する当局の警戒感の高まりを懸念し、外為市場では中国人民銀行による人民元売り予約に対する外貨リスク準備金率が0%に引き下げられたことにより、それぞれ冷や水を浴びせられたように上げ幅が縮小している。

欧米での低金利政策長期化懸念に対し、中国では資産価格上昇懸念から金融緩和余地が乏しく、金利差が拡大した状態が続く可能性が高いと考えられ、引き続き中国への国外からの資金流入が見込まれている。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日2,100億元とMLF期日2,000億元に対し、新規リバースオペ1,000億元とMLF5,000億元（1年2.95%）を実施し、差し引き1,900億元を供給している。

(3) 主な経済指標

- ・CPI（9月）は、前年比+1.7%（8月、同+2.4%）と、エネルギー価格等を中心に価格下落圧力が強い中で、高騰が続いていた食品価格の上昇幅縮小により、伸びが鈍化している。
- ・PPI（9月）は、前年比-2.1%（8月、同-2.0%）と、出荷価格が食品を除き下落していること等により、8ヶ月連続でのマイナスとなり、小幅ながら前月に比してマイナス幅が拡大している。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.0170%	2.0500%	2.4000%	
1W	2.1990%	4.0000%	2.3000%	2.0500%
2W	2.1830%	2.2000%	2.7000%	2.1000%
1M	2.6320%	3.2000%	2.6000%	2.4000%
3M	2.7860%	3.0000%		2.9200%
6M	2.9470%			3.0500%
9M	3.0220%			3.1300%
12M	3.0660%			3.1400%

中国人民銀行はMLFの増額継続により長めの資金供給を増やすオペレーションを続け、足下資金需給も余剰の状況が続いているものの、ターム物の金利水準は上昇傾向が続いている。これは、当局が資産価格上昇に対する警戒を解いておらず、金融緩和が期待できる状況にないことが背景と考えられる。ターム物の出合いは1ヶ月の2.70%前後での取引を除き限定的。

NCDも、金利水準が高止まりする状況が続いており、ターム物の金利水準は1ヶ月2.40%前後、3ヶ月2.90%前後、6ヶ月3.00%前後、1年3.10%前後に上昇している。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.03%	0.05%
1M	0.09%	0.10%
3M	0.30%	0.35%
6M	0.65%	0.68%
12M	0.85%	0.90%

四半期末も越え、ドル資金需給の安定に変化もなく、ターム物では1ヶ月が0.10%前後まで低下して取引されている以外に積極的な出しは見られず、閑散な状況となっている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.61%	2.65%	2.90%	2.85%	3.19%
6M	2.69%	2.74%	3.02%	3.12%	3.42%
1Y	2.70%	2.84%	3.14%	3.19%	3.49%
3Y	3.02%	3.16%	3.47%	3.69%	4.04%
5Y	3.16%	3.38%	3.74%	4.00%	4.56%
10Y	3.22%	3.71%	4.01%	4.32%	5.02%

債券市場では、増発懸念や堅調な株式市場に加え、景気回復期待と資産価格上昇懸念による国内の利回り上昇要因と、国際的なインデックスへの組み込みや欧米諸国との金利差による国外からの資金流入要因が交錯する状況が続いている。

イールドカーブは、短期債の利回りが大幅に上昇した以外に大きな変化はなく、クレジットスプレッドも概ね変化はなかった。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	32.9 / 33.0
1M	153.0 / 154.0
3M	477.2 / 478.0
6M	882.0 / 884.0
9M	1231.0 / 1239.0
12M	1600.0 / 1605.0

対ドル基準レートは6.7332と前週末比-464pipsのドル安元高、対円基準レートは6.3887と同-156pipsの円安元高と、元高を映じた水準で設定されている。市場取引においては、前週末に6.70台まで人民元が買い進まれていたものの、中国人民銀行が10/12から外貨リスク準備金率を0%に引き下げたことを契機に6.76台まで戻した後、再度元高方向に転じて前週末比元高水準で週末を迎えている。

先物は、外貨リスク準備金率の引き下げや人民元金利のじり高傾向が続いているものの、スワップ幅水準に大きな変動はなかった。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.42%		2.10%
6M	2.46%	2.94%	2.13%
9M	2.50%	3.02%	2.18%
1Y	2.53%	3.08%	2.20%
3Y	2.76%	3.39%	2.35%
5Y	2.92%	3.59%	
7Y	3.04%	3.75%	
10Y	3.18%	3.91%	

資金市場の金利水準、債券市場の利回りがともに小幅ながら上昇していることから、スワップ金利も小幅上昇が続いている。債券利回りとの金利差のスワップスプレッドには概ね変動はない。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。